

第1回策定委員会での主な意見とその対応等について

日 時：令和6年6月17日（月） 10：00～12：00

場 所：福井県庁 2F 中会議室

出席者：浅利委員、岩前委員、菊池委員、羽場委員、松永委員、桃井委員（五十音順）

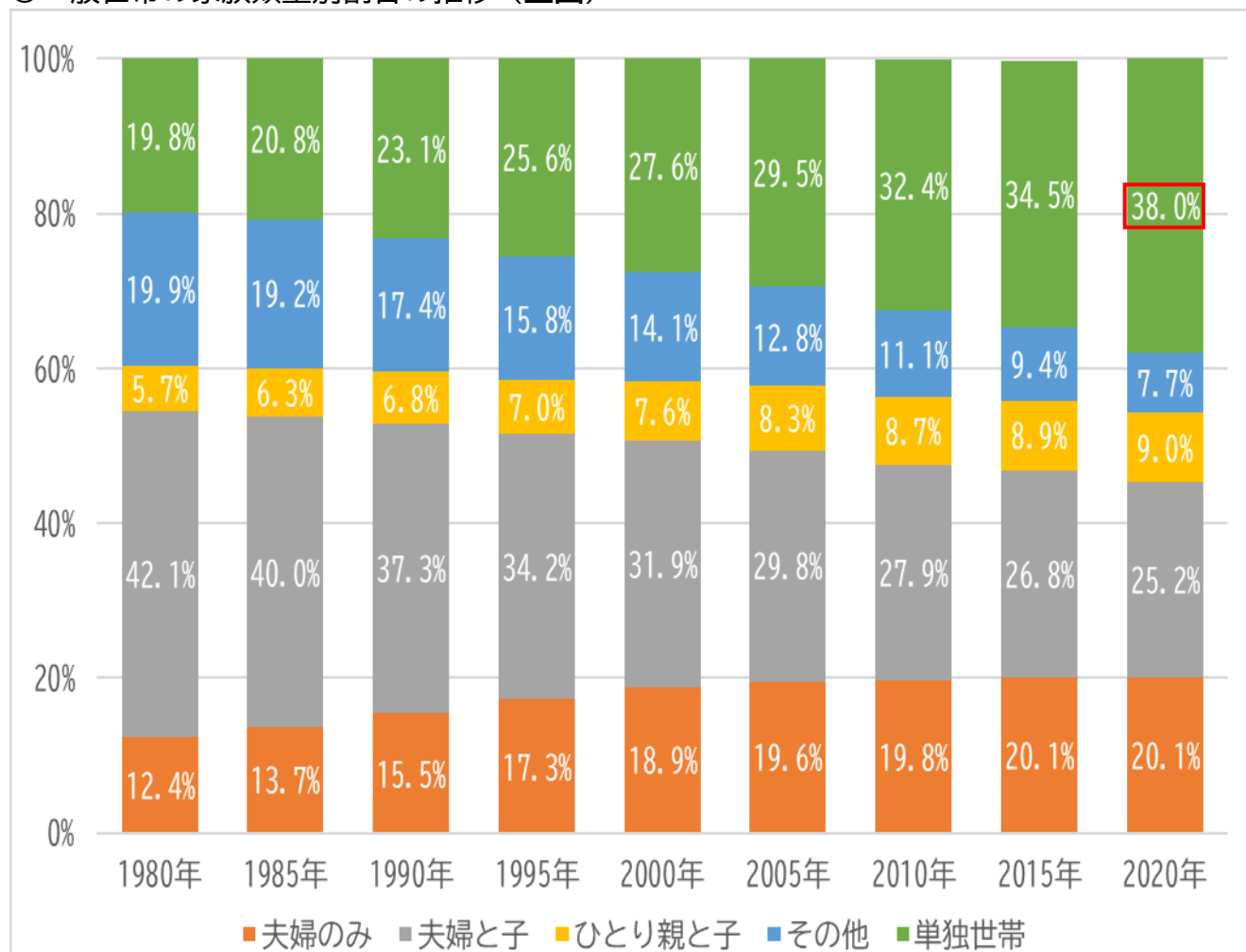
議 事：福井県独自の省エネ住宅基準策定の目的および基準項目等について
 省エネ住宅シミュレーションの内容について
 事業者アンケートおよび関係団体等へのヒアリング内容について

主な意見	対応等
『気密性能について』 ○C値（気密性能）に関しては<u>住宅を建ててからでないと測定できないので中々ハードルが高いと思うが、その辺りどのように考えているか。</u> ○C値に関しては今後<u>どのような形で条件化していくのか、推奨程度にするのか、最終的に難しいところであるが、何もしないというわけにはいかないと思うので議論が重要かと考える。</u>	▶ 事業者意見等を踏まえ、基準案に盛り込む。 （資料3にて説明）
『換気設備について』 ○換気設備について、<u>換気が悪いと感染症が増えるイメージがあるが。気密性能が高いとカビが減ったりすることはわかったのだが、感染症ウィルスに関して換気設備の役割というのはどのように考えているか。</u>	▶ 換気設備の役割は”室内で発生した汚れた空気を換気すること”であるが、気密性能が低いと適切な計画換気がなされない。 （イメージ図参照）
<イメージ図> 新鮮な空気 気密性能（高） 汚れた空気 気密性能（低） 気密性能が低いほど、吸気口からの吸気量が少なくなる ショートサーキット発生のおそれ 隙間から入った空気はフィルターを通していないので、汚れた空気が入ってくる可能性も	

主な意見	対応等
『単身世帯の省エネ住宅シミュレーションについて』 ○省エネ住宅シミュレーションについて、家族４人（大人２人、子供２人）でシミュレーションを行うとあるが、<u>最近</u>は単身世帯が<u>すごく</u>増えているので、<u>単身世帯向け</u>の<u>もう少し小さい住宅</u>でシミュレーションしてもいいのではないかと。 ○<u>単身世帯</u>については、<u>既存住宅の断熱改修が有効</u>になってくると思うので、<u>既存住宅の単身世帯のプラン</u>も<u>あった方がいい</u>と思う。 ○単身世帯の割合について、<u>若者の集合住宅で住む割合と単独の高齢者の方が住む割合が合わさってしまっている</u>と思われるので、その辺の割合の仕分けも必要と感じた。その辺を見極めて、どういった条件設定が必要になってくるのか検討の余地があると思った。<u>その割合に関しては県としては把握しているか。</u>	▶ 新築住宅：単身世帯は少数と考えられるため、夫婦のみ世帯、三世帯世帯のシミュレーションを実施 既存改修：少人数世帯（夫婦のみ世帯や単身世帯）を想定したゾーン改修のシミュレーションを実施 （資料２にて説明） ▶ 単身世帯（単独世帯）等に関するデータについては別紙のとおり ・福井県は全国の中では単身世帯の割合は低い。 ・また、単身世帯の内、間借り・下宿・会社の独身寮などの単身者は１割未満
『日射遮蔽について』 ○日射遮蔽に関しては、福井県独自の基準では特に示さないということだが、ここ最近の夏の暑さは異常で、今後は考慮しなければいけない課題の１つだと思う。そういった中で日射遮蔽に対してどのような対策が必要なのかと言う事は、考えていく必要があるのではないかと。 ○基準にいれるかどうかは別として、冷房の効きの違いを示してあげるといいと思う。住宅内のカーテンよりもすだれやグリーンカーテンなど屋外の遮熱の方が有効といった提案を付属資料でもいいのであるといいと思う。	▶ 補足資料として提示。 （資料３にて説明）

単身世帯（単独世帯）等に関するデータ（出典：令和2年 国勢調査）

○一般世帯の家族類型別割合の推移（全国）

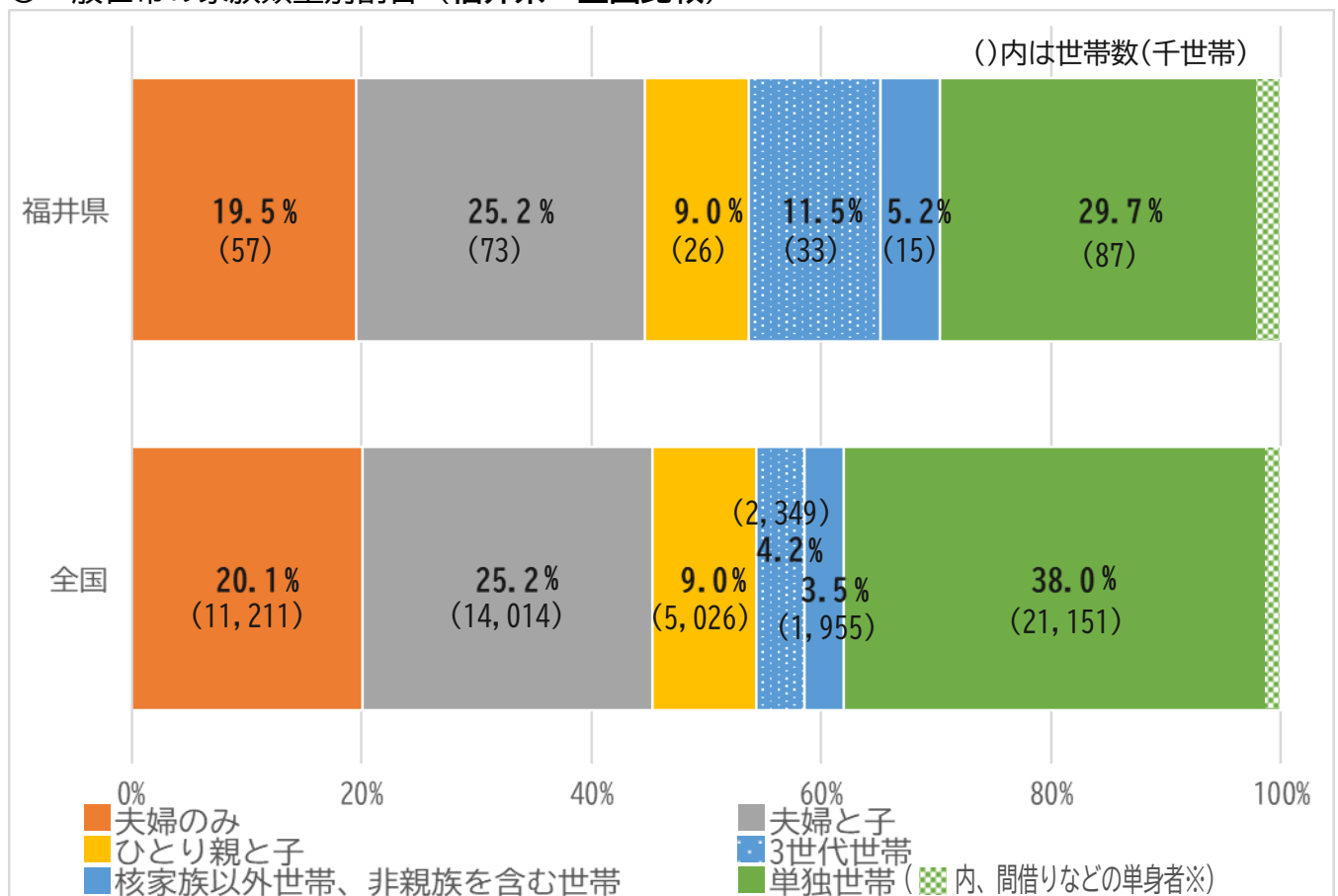


※その他世帯…3 世代世帯、核家族以外世帯、非親族を含む世帯

○都道府県別単身世帯割合

順位	都道府県	単身世帯率	順位	都道府県	単身世帯率	順位	都道府県	単身世帯率	順位	都道府県	単身世帯率
1	東京都	50.2%	13	山口県	36.5%	25	熊本県	33.9%	37	滋賀県	31.9%
2	大阪府	41.8%	14	愛知県	36.3%	26	岩手県	33.3%	38	静岡県	31.9%
3	京都府	41.2%	15	千葉県	36.3%	27	島根県	33.2%	39	長野県	31.0%
4	福岡県	40.7%	16	大分県	36.0%	28	福島県	33.1%	40	新潟県	30.9%
5	北海道	40.5%	17	兵庫県	35.9%	29	青森県	33.1%	41	秋田県	30.6%
6	神奈川県	39.2%	18	宮崎県	35.8%	30	三重県	33.0%	42	佐賀県	30.3%
7	高知県	39.1%	19	徳島県	35.6%	31	栃木県	32.9%	43	福井県	29.7%
8	鹿児島県	38.9%	20	岡山県	35.6%	32	茨城県	32.6%	44	富山県	29.7%
9	愛媛県	37.5%	21	石川県	34.7%	33	山梨県	32.6%	45	岐阜県	29.4%
10	沖縄県	37.4%	22	香川県	34.4%	34	和歌山県	32.5%	46	奈良県	29.3%
11	広島県	37.3%	23	長崎県	34.4%	35	群馬県	32.4%	47	山形県	28.4%
12	宮城県	36.9%	24	埼玉県	34.0%	36	鳥取県	32.2%			

○一般世帯の家族類型別割合（福井県－全国比較）



※単身世帯の内、間借り・下宿・会社の独身寮などの単身者

▶全 国：21,151 千世帯の内、1,071 千世帯（約 5%）

▶福井県： 87 千世帯の内、 8 千世帯（約 9%）